

山陰近畿自動車道早期実現促進大会

- 【開催日時】令和5年11月3日（金） 13:30～15:30
 【場所】京都府丹後文化会館 ホール（京丹後市峰山町）
 【主催】丹後・地域高規格道路推進協議会（舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）
 【後援】京都府、京都府高速道路網整備促進協議会
 【内容】○オープニング 1開会宣言 2主催者挨拶 3来賓祝辞 4来賓紹介
 5祝電披露 6基調講演 7概略ルート説明 8意見発表 9大会決議
 10要望書手交 11がんばろう三唱 12閉会挨拶

- 【参加者数】約400人
 【来賓】◆国会議員
 本田太郎衆議院議員、西田昌司参議院議員、吉井章参議院議員
 ◆国土交通省
 水野宏治近畿地方整備局道路部長、犬丸潤福知山河川国道事務所長
 ◆京都府
 山下晃正副知事、平井公彦丹後広域振興局長、濱田禎建設交通部長、
 西岡久建設交通部理事、市原隆丹後土木事務所長
 ◆京都府議会
 石田宗久議長、中島武文議員、森口亨議員、武田光樹議員
 ◆京都府道路公社
 神敏郎理事長、小出美次常務理事、小林暢彦理事
 ◆京都府土地開発公社
 藤森和也理事長、中久保忠伴常務理事
 ◆但馬・地域高規格道路推進協議会
 土生田哉豊岡市副市長

大会決議(概要)

今年度の促進大会では下記の決議を参加者の満場一致での承認に基づき、早期全線整備の加速化を国府の関係者へ強く要望しました。

- 令和10年代の府県境までの計画的な早期全線整備
- 網野ICから府県境区間の早期の都市計画決定
- 料金徴収開始までの大宮峰山ICから網野IC間の事業化
- 大宮峰山道路とアクセス道路の令和8年度までの完成に必要な予算措置
- 「5か年加速化対策」予算・財源の確保の抜本的な強化充実
- 抜本的に強化充実した国土強靱化実施中期計画の早期策定と予算・財源の別枠確保
- 地方整備局等の体勢の充実・強化

【オープニング】市立峰山中学校吹奏楽部



【開会宣言】 副会長(与謝野町長) 山添 藤真



山陰近畿自動車道は、私たち丹後に住む者たちにとって、長年にわたっての悲願。道路の早期完成が推進されることを願い、大会を開催します。

【主催者挨拶】会長(京丹後市長)中山 泰



山陰近畿自動車道は日本海国土軸の一翼を担う、広域連携ネットワークを形成する極めて重要な道路だが、現在は日本海側唯一の高規格道路網のミッシングリンクとなっている。周辺に陸上・海上・航空の各自衛隊、米軍サイト、海上保安庁などの国の安全確保に欠かせない施設が展開し、太平洋側の大規模災害に備えたりダンダンシー確保の上でも重要不可欠であり、早期全線供用は待たなしの状況。昨年是有料化の提案をいただく中で、最大限の整備加速化のため、地元としてギリギリの受け止めに判断した。是非とも事業の加速化が明確にわかる形で、1日も早い早期全線整備に向けて、地域を挙げて強く強く願います。

【来賓祝辞】



衆議院議員 本田 太郎 様
 参議院議員 西田 昌司 様
 参議院議員 吉井 章 様
 京都府副知事 山下 晃正 様
 京都府議会議長 石田 宗久 様

山陰近畿自動車道は「命の道」であり、生活を支える道路。行くべきところにしっかりと繋がるのが大事。地域の声を最大限かす形で事業を進めていくため、地元・府と共に汗をかき、国の予算もしっかり確保できるよう頑張っていく。

道路行政が遅れてきた一番の原因は、財政の誤った考え方の蔓延による公共事業の供給力不足。財政の考え方を正し、供給力の確保に向け、地元の一番の願いである山陰近畿自動車道が早期完成できるように、全力で議論を進めていく。

高速道路利用が伸びない要因として高速料金や欧米に比べ長いインター間距離、一般道の整備不足があるが、一番の要因はミッシングリンク。道は繋がってこそであり、しっかりと進めていくため、予算の確保に全力を尽くしていく。

昨年の大会で、地元の方に大きな決断をしてほしいと依頼し、決議をいただいたことで、本日3つのルート案を示せることとなった。これからの議論が体面に実りある道路の実現に繋がるという思いで、ご協力をお願いしたい。

道路整備は災害時の迅速な復旧やリダンダンシーの確保に繋がり、地域の安全安心の向上に不可欠であり、地域の創生・発展に繋がる。全ての皆様が心豊かに生き生きと暮らすことのできる社会の実現に向け、全力で取り組んでいく。

【基調講演】

「道路行政を取り巻く最近の情勢について ～全国高規格ネットワークと山陰近畿自動車道～」
 国土交通省近畿地方整備局 道路部長 水野 宏治 様



【講演の主な項目】

- 近畿圏の高規格道路ネットワークの歴史
- 都市間連絡速度の海外比較
- 山陰近畿自動車道の整備効果・現在の整備状況

日本最大級とも呼べる山陰近畿自動車道のミッシングリンクは、日本において大きな課題。国としても山陰近畿自動車道が1日も早く実現するように、府県とタッグを組んで進めて参ります。

【概略ルート説明】

「山陰近畿自動車道 概略ルート 3案」
 京都府丹後土木事務所 所長 市原 隆 様



協議会からの要望事項である地元希望ルート帯の中で網野・浜詰・久美浜の3箇所のIC、都市計画決定済みの網野ICを市街地に近づける案を含む3案。地元の皆様の意見を踏まえ、国と相談しながら概略ルート決定に向け精一杯取り組んでいきます。

【意見発表】



京丹後市観光公社 地域本部長 田中 智子 様
 京丹後への観光客はほとんど関西方面からであり、中国地方からの誘客のためには、山陰近畿自動車道を西へ延伸し但馬・鳥取空港とのアクセス改善が重要。関西万博やその先を見据え、交流人口拡大のため、山陰近畿自動車道の早期実現を心から切望します。

中山商事株式会社 代表取締役社長 中山 良 様
 物流業界として、山陰近畿自動車道の全線開通によるアクセスの効率化がもたらす生産性向上や労働環境の改善などに非常に期待している。人の生活を豊かにする山陰近畿自動車道の早期全線開通を熱く希望します。



【決議文採択】 監事 (京丹後市議会議員) 谷津 伸幸



コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興を実現するためには、ミッシングリンクである山陰近畿自動車道の早期全線整備が不可欠。また、山陰近畿自動車道の整備加速化のため、令和7年度から一部利用者負担を甘受したところであり、計画的かつ着実な整備推進と先線の早期ルート決定が欠かせない。地方創生を加速前進させていく必要性が高まっているため、次の事項を強く要望する。

【閉会挨拶】 会員 (宮津市議会議員) 長本 義浩



高速道路網をはじめとする幹線道路網の早期整備は、私たちの丹後地域にとって最大の悲願であり、山陰近畿自動車道に寄せる期待はひとかたならぬものがある。網野から府県境までの区間の概略ルート案が示されたことは全線整備に向けた着実な一歩。地方創生を前進させ、丹後地域を将来に夢と希望の持てる地域へと私たちの手で実現するため、一致団結し努力してまいります。

【がんばろう三唱】 発声：監事 (舞鶴市議会議員) 上羽和幸



発声は上羽舞鶴市議会議員、左から長本宮津市議会議員、水野近畿地方整備局道路部長、谷津京丹後市議会議員、山下京都府副知事、山添与謝野町長、西田参議院議員、中山京丹後市長、本田衆議院議員、上山伊根町副町長、吉井参議院議員、石田京都府議会議員

【要望書手交】



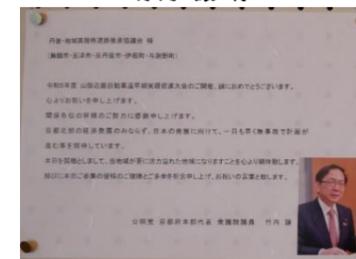
左から長本宮津市議会議員、水野近畿地方整備局道路部長、谷津京丹後市議会議員、山下京都府副知事、山添与謝野町長、西田参議院議員、中山京丹後市長、本田衆議院議員、上山伊根町副町長、吉井参議院議員、上羽舞鶴市議会議員、石田京都府議会議員

【ご祝電】

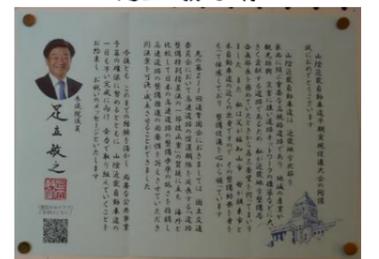
衆議院議員 田中英之 様



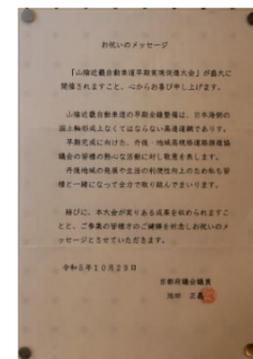
衆議院議員 竹内 讓 様



参議院議員 足立 敏之 様



京都府議会議員 池田 正義 様



参議院議員 佐藤 信秋 様



鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会 深澤 義彦 様

